

科目名	文学 I Literature I	科目コード	20430
-----	----------------------	-------	-------

学科名・学年	電気電子システム工学科・4年（プログラム1年）
担当教員	丸山 俊（一般教育科）
区分・単位数	履修単位科目・選択・1単位
開講時期・時間数	後期, 30時間【内訳：講義28, その他2】
教科書	太宰治「人間失格」（新潮文庫など。出版社は特に指定しない）
補助教材	担当者によるプリント
参考書	国語辞典・古語辞典等

【A. 科目の概要と関連性】

太宰治「人間失格」を講読する。担当者による講義と、受講者による発表形式を併用し、本作品の鑑賞を通して、日本人の伝統的な深層心理や精神性についての理解を深める。

○関連する科目：国語(1～4 学年)・文学ⅡA(5 学年)・文学ⅡB(5 学年)

【B. 「科目の到達目標」と「学習・教育到達目標」との対応】

この科目は長岡高専の教育目標の(A)と主体的に関わる。

この科目の到達目標と、成績評価上の重み付け、各到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を以下の表に示す。

科目の到達目標	評価の重み	学習・教育到達目標との関連
①近代文学に関する基本的な読解力・鑑賞力を身につける。	35%	(a1)
②日本的・伝統的な思考様式を理解する。	35%	(a1)
③論理的な文章を書く能力と、基本的な口頭発表の能力を身につける。	30%	(b1)

【C. 履修上の注意】

講義や講読に加え、受講者によるグループもしくは個人による発表形式で授業を行う。テキストは各自で購入しておくこと。作品は事前に通読し、関連する文献も可能な限り読んでおくこと。必要に応じて、国語辞典・古語辞典を持参すること。評価は、発表とレポートによる。

【D. 評価方法】

次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。60点以上を合格とする。

- レポート（60%）
- その他（40%）

【E. 授業計画・内容】

● 後期

回	内容	備考
1	ガイダンス・発表形式の確認と発表担当者の決定	
2	太宰治年譜および時代背景に関する講義	
3	太宰治年譜および時代背景に関する講義	
4	「はしがき」の発表・討議および講義・解説	
5	「第一の手記」の発表・討議および講義・解説	
6	「第一の手記」の発表・討議および講義・解説	
7	「第二の手記」の発表・討議および講義・解説	
8	「第二の手記」の発表・討議および講義・解説	
9	「第二の手記」の発表・討議および講義・解説	
10	「第二の手記」の発表・討議および講義・解説	
11	「第三の手記」の発表・討議および講義・解説	
12	「第三の手記」の発表・討議および講義・解説	
13	「第三の手記」の発表・討議および講義・解説	
14	「第三の手記」の発表・討議および講義・解説	
15	「あとがき」の発表・討議および講義・解説	